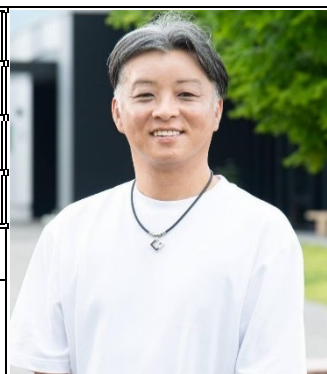


## 地域活性化伝道師プロフィール

分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	◎	農・林・水産業	
	地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	
	地域コミュニティ・集落再生	○	環境	
	地域交通・情報通信		まちづくり	◎
ふりがな		てらもと えいじ		
氏名		寺本 英仁		
所属	名称	株式会社 Local Governance/一般社団法人地域商社ビレッジプライド邑南/東亜大学		
	役職	代表取締役/代表理事/客員教授		
連絡	住所 (職場)	〒696-0104 島根県邑智郡邑南町日和 237-1		
	連絡先	e-mail	jinzai[アットマーク]ohnan.com	
		TEL 0855-97-0018	FAX 0855-97-8567	
	連絡方法	E-Mailでお願いします		
略歴	<p>島根県出身。1994 年 3 月、東京農業大学農学部卒業後、島根県石見町(現邑南町)役場に入庁。2009 年 10 月、邑南町での産業おこしの取り組み(道の駅瑞穂の運営・インターネットサイトみずほスタイルの取り組み・邑南町発の全国公募型特産品コンテスト「Oh!セクション」の立ち上げなどを担当したことが評価され、小泉内閣発足時に発足した「地域産業おこしに燃える人」の第 3 期メンバーに選出。2012 年、邑南町が掲げる A 級グルメ構想を担当したことが評価され、総務省地域力創造アドバイザーに就任。2016 年、地域おこしのトップランナーとして NHK プロフェッショナル仕事の流儀に取り上げられる。2018 年 11 月、まちづくりの経緯を自身の著書『ビレッジプライド「0 円起業」の町をつくった公務員の物語』が、尾崎行雄記念財団(東京都)「罌堂(がくどう)ブックオブザイヤー 2018」において地方部門大賞を受賞。また、食生活ジャーナリストの会が開催する第 3 回「食生活ジャーナリスト大賞」(2018 年度)「食文化」部門において大賞を受賞。2019 年 5 月より「につぼん A 級(永久)グルメ連合アドバイザー」に就任。2020 年に、「地方公務員が本当にすごい!と思う地方公務員アワード 2020」において、『地方公務員が本当にすごい!と思う地方公務員 2020 賞』、『特別協賛社賞-「電通 CP 塾賞」』を受賞。同年、一般社団法人 at Will Work 主催の『これからの日本をつくる 100 の“働く”をみつけよう「Work Story Award 2020」』においてイノベーション部門賞を受賞。2022 年 3 月邑南町役場退職。2022 年 4 月、株式会社 Local Governance を設立し代表取締役に就任。一般社団法人地域商社ビレッジプライド邑南 代表理事。東亜大学 客員教授。</p>			



- ※ 公開できる情報のみ掲載しています。
- ※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。
- ※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

著作・論文等	<p>2018 年「ビレッジプライド」～0 円起業の町をつくった公務員の物語～（ブックマン社）</p> <p>2020 年「東京脱出論」（藻谷浩介氏との共著 ブックマン社）</p> <p>2022 年「A 級グルメが日本の田舎を元気にする」～スーパー公務員が役場を辞めた理由～（時事通信社）</p>
取組概要	<p>島根県邑南町の人口 1 万人の小さな町に、『A 級グルメのまち』と銘打ち、全国からお客が殺到するイタリアンレストランや食の研修施設である「食の学校」などを立ち上げ、食と農を切り口としたまちづくりに取り組んできました。10 年間で 10 名の料理人の起業プロデュースや、飲食店を 40 件増加させた実績や、様々なプロモーション活動により、邑南町の知名度の向上に努め、3 年連続社会人口増にも大きく貢献しています。また、特に少子高齢化が進む小さな地域での課題に向き合い、課題解決しながら地域循環する仕組みづくりにも取り組んでいます。</p> <p>現在は、にっぽんの田舎を元気にしていくため公務員の人材育成にも力を入れています。公務員が元気になるればきっと地域も元気になるれます。</p> <p>【邑南町の実例】</p> <p>○インターネットショップみずほスタイルを立ち上げ、地域産品（石見和牛肉、キャビア、自然放牧牛乳、邑南野菜等）のブランド化に成功</p> <p>○邑南町における A 級グルメ構想を平成 23 年度に立ち上げ、地産地商レストラン 里山イタリアン AJIKURA を立ち上げる。（2019 年度フランスのレストランガイドブック2トックを獲得）</p> <p>○平成 23 年度観光協会を社団法人化し、自主事業として、旅行業をたち上げ、『食と農』を軸とした観光戦略を立ち上げ、年間観光入込客 90 万人を達成。</p> <p>○平成 26 年食の研修施設『食の学校』を立ち上げし、料理人の研修制度『耕すシェフの研修制度』（地域おこし協力隊）を立ち上げ</p> <p>10 年間で町内に 10 人の料理人の起業をプロデュース。町内飲食店も平成 23 年から 10 年間で 40 件増加させる。</p> <p>○平成 28 年地域商社 ビレッジプライド邑南の立ち上げをプロデュースし、町外に委託していたふるさと納税事業の運営を地域商社が行い、納税額平成 29 年度 5 千万円から平成 30 年度 1 億 6 千万円まで伸ばす。</p> <p>現在 30 名の雇用を実現。</p>
メッセージ	<p>今まで公務員として取り組んできたことを、他地域でも広め、日本の田舎を元気にするために活動していきたいと思っています。これからは、地方が輝く時代です。そこに存在するモノもヒトも大事な資源です。その資源を生かし、その地域ならではの魅力を見だし、活気ある元気なまちづくりを目指していきましょう。</p>
関連ホームページ	<a href="https://local-governance.com/">https://local-governance.com/</a>
活動エリア	-

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。